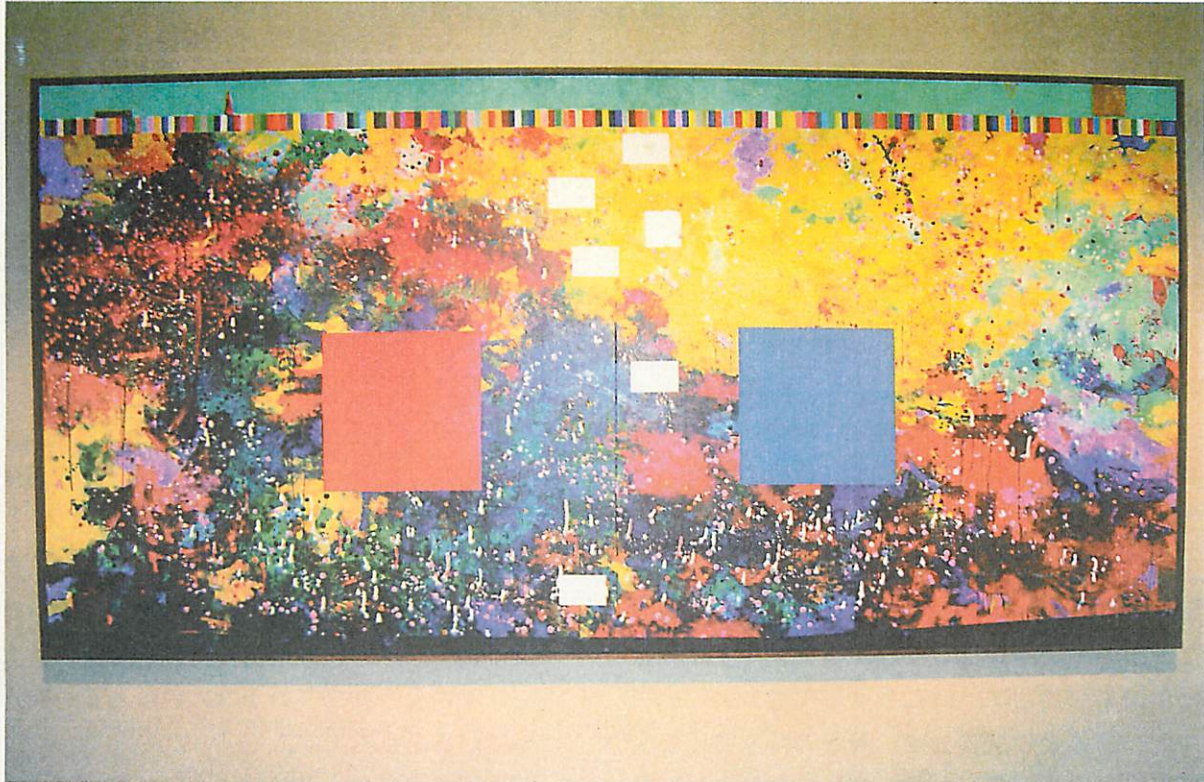




# かせかけ

編集 沖縄県立看護大学  
広報専門部会  
発行 平成21年3月10日



寄贈 株式会社屋部土建 代表取締役会長 前田 裕継 氏（開学10周年記念事業、制作 比嘉良治氏）

## 目次

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| ● 開学10周年記念シリーズ(2) ……2    | ● オープンキャンパス ……7       |
| ● 学部GP・大学院GP ……5         | ● その他主な教育活動 ……8       |
| ● 那覇市教育委員会との連携事業 ……5     | ● 教職員の動き ……8          |
| ● サークル紹介 ……5             | ● 大学院GP院生の募集および結果 ……8 |
| ● 海外研修セミナー ハワイ研修2008 ……6 |                       |

## 開学10周年記念シリーズ(2)



### 開学10周年記念事業を終えて

沖縄県立看護大学  
学長 野口 美和子

開学10周年を記念して様々な事業を行いました。記念式典では仲井真知事の御臨席のもと多くの方々にご出席頂き、又お祝辞を頂き10年間の県大の実績を確認し、次の10年の進むべき道を県民の皆様と共有するものとなったと思います。その内容は10周年記念誌を是非御覧下さい。

式典では初代学長上田礼子先生に知事から感謝状が送られたこと、又これまでお世話になった沢山の方に学長として感謝状を差し上げることが出来たことは、何にもまして嬉しいことでした。その後の祝賀会は、開学の時と同じ会場那覇市民会館で行われ、楽しいものとなりました。本大学が県民の皆様を受け入れられていることをひしひし感じ、暖かいものが胸にこみ上げて来ました。

記念講演は、WHO西太平洋事務局長の尾身茂先生の「健康と文明」でした。現代文明世界の人々の健康問題と看護職をはじめとして保健医療職の貢献についてお話し下さり、本学の学部学生・院生・教職員そして県内の保健医療職の方々に向けて、広い視野から学び、足を地につけて活動することの大切さを導いて下さいました。

10周年を記して、看護大学の歌も選定出来

ました。素敵です。又ロゴマークを募集し、それが入ったグッズも作りました。単科大学でさみしかった我が大学も少し大学らしくなっただでしょうか。

10周年の様々な事業は沢山の方のご寄付によって支えられました。個人からのみでなく看護学校同窓会や研究会などからも頂きました。そして、記念式典が終わった後も続々と今だにご寄付の申し出があり、県民の皆様の暖かい志を感じる毎日です。県民の為につくす心を持ち、力のある看護職を育てていかなければと意を新たにしているところです。

開学記念事業の一部始終をのせて記念誌を発行します。多くの方々にご覧頂きたいと思います。それからもう一つ、10周年を記念して、沖縄県出身でニューヨークで活動されている有名な比嘉良治画伯による絵が、屋部土建代表取締役会長前田裕継様より寄贈されました。4階の講堂の正面入り口の壁面を飾っています。とても素晴らしい絵で、学生や教職員が癒され、励まされています。一般の方々も時折絵を見に来校されておられます。

皆様も是非ご覧になって下さい。きっと清らかで暖かいエネルギーを受け取って頂けると思います。

## 「開学10周年記念事業」への協力お礼

事務局長 有銘 政勇

県立看護大学開学10周年記念事業が成功裡に終わり一息しているところです。それぞれの事業の遂行に尽力された教職員の皆様本当にご苦労さまでした。実行委員会事務局長として感謝しております。

平成19年10月の第一回実行委員会で各委員から提案された多くの事業は、おおむね実施されており、記念誌も印刷中で近々配布予定です。また、記念事業で特筆すべき事業は、附属図書館で約750冊の図書購入及び4階フロアに立派な絵画を寄贈いただいたことです。

去る10月25日の記念式典・祝賀会では、仲井

眞知事、ハワイ大学関係者、県外招待者、本学教育功労者はじめ多くの本学支援者の方々にお祝い頂きありがとうございました。

この記念事業を契機として、県の看護教育施策の歴史を振り返りさらに充実を図るとともに唯一の看護大学が、看護教育・研究等の拠点であることから県民の医療・保健・福祉の向上に地域と共同一層で取り組んでいきます。

今回の記念事業を行うに当たり、県内外の多数の皆様方から多額のご寄付及びご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

## 開学10周年記念式典

記念式典WGリーダー 大瀧 明美

記念式典実施ワーキンググループは、教職員8人と学生3人の11人で発足しました。式典の目的は、「開学10年の節目にあたり、皆様へのご支援・ご協力への感謝と同時に、これまでの足跡を振り返り、今後10年間の方向性を共有し、開学の精神や理念の実現に協働で取り組むことへの賛同を得ること」であった。式典は、117人の参列者とともに、知事挨拶、来賓として公立大学協会会長、ハワイ大学総長、カウアイココミュニティカレッジ学長、沖縄県看護協会会長、沖縄県医師会会長をお招きし、祝辞を頂きました。そして、県知事から上田礼子初代学長、学長から非常勤講師などこれまで本学に貢献した方々に感謝状が贈呈されました。



## 「開学10周年記念」関連事業

### ○ 記念講演

講師：尾身 茂 (WHO 西太平洋事務局長)  
 演題：健康と文明  
 日時：平成20年10月27日(月) 午後5時～6時  
 場所：沖縄県立看護大学大講義室  
 参加人数：362人(一般参加者73人、学生289人)

### ○ 特別セミナー

講師：Dr. Yoshimitsu David Iha  
 (前ハワイ大学理事会事務局長)  
 演題：大学マネジメントとその評価  
 (University Management and its' Evaluation)  
 日時：平成20年10月26日(日) 午後3時～5時  
 場所：視聴覚教室(沖縄県立看護大学教育管理棟2F)  
 参加人数：45人

### ○ 「10周年記念誌」の発行



## 「沖縄県立看護大学の歌」の決定

校歌制定WGリーダー 渡久山 朝裕

昨年、開学10周年を記念し、本大学の使命や目的、学風を表現できる「沖縄県立看護大学の歌」を制定するため、歌詞を全国公募しましたところ、31作品が寄せられました。4月、作詞者の個人情報秘匿し、厳正な選考手続きを経て、本学教授新城正紀氏の作品が選ばれました。続いて、その歌詞にふさわしい曲を全国公募しましたところ、137作品が寄せられました。それをワーキンググループメンバーで12作品に、さらに選考委員会が2作品に絞りました。歌詞の場合と同様に学生・院生、教職員が投票を行った結果、東京都在住の音楽家林達郎さんの作品が選ばれました。10月25日、10周年記念式典当日に作詞者、作曲者と大学が著作権契約書を交わし、「沖縄県立看護大学の歌」が制定されました。本学の学生、教職員、関係者が永くこの歌を歌い継ぎ、愛し、財産として守って行ってほしいと願います。最後になりましたが、歌詞や曲を応募して下さいの皆様、選考委員をはじめ制定にご協力くださった学外学内の皆様に深く感謝いたします。

沖縄県立看護大学の歌

作詞：新城正紀  
作曲：林達郎

Copyright © 2018 Okinawa Prefectural College of Nursing

## 「沖縄県立看護大学の歌」歌詞に込めた想い

「沖縄県立看護大学の歌」作詞 新城 正紀

「沖縄県立看護大学の歌」に選定されたことを大変うれしく思います。私は、作品に次のような想いを込めました。

- 一、沖縄県立看護大学の使命、教育理念、教育目標が含まれている。
- 二、本学の学生は、人の命の尊さを大事に、心豊かな人間性を備えて、仲間と励まし、切磋琢磨し、勉学に励んでほしい。
- 三、本学の美しい、癒しの空間である校庭および校舎を想い浮かべてほしい。
- 四、看護の知識、技術、態度を学習し、地域および世界の人々に質の高い看護を提供、貢献できる人材の育成をめざす。
- 五、学生および教職員は、沖縄県立看護大学を愛し、誇りに思える大学の創造に力を合わせる。校歌（学歌）として多くの関係者に歌われることを希望します。



## 「沖縄県立看護大学の歌」曲に込めた想い

「沖縄県立看護大学の歌」作曲 林 達郎

沖縄県立看護大学関係者の皆様、10周年おめでとうございます。また、大学の歌に採用していただき厚く御礼申し上げます。このような10周年という大変素晴らしい機会に作曲できたことは、私のこれからの人生に大きな影響を与えていくと思います。

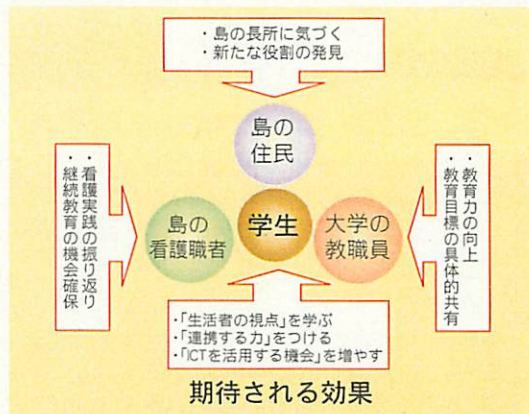
今回、詞を何度も何度も繰り返し読んでみると自然と曲が浮かび、自然体の作品を完成させることができました。これは新城先生の、学生、大学、看護、そして沖縄に対する強く熱いメッセージが私の心にストレートに響いたからだだと確信しています。この詞を生かす事だけを考えて作曲しました。是非、皆様の方で魂を吹き込んでいただき、末永く歌い継がれることを願っています。



## 「学部GP」

取組実施担当者(代表) 前田 和子

文部科学省が募集した平成20年度「質の高い大学教育推進プログラム」(通称、学部GP)に応募し、採択率15%の難関を見事突破しました。金城図書館長と大湾教授をリーダーとするチームの発想と努力の賜物です。取組名称は「島しょ環境を活かして学ぶ保健看護の教育実践」です。離島の住民や看護職者をはじめとする島の関係者の力をたくさん借りて、学生の実習の成果を上げる3年間の企画です。まずは宮古島から取組を開始します。



## 「大学院GP」

取組実施担当者(代表) 神里 みどり

大学院GPとは、大学院教育における優れた取組 (Good Practice) のことです。文部科学省は、平成19年度より優れた大学院教育の取組に対して支援を行う「大学院教育支援プログラム」の事業を開始しました。本大学は、平成20年度、「島嶼看護の高度実践指導者の育成」というテーマで、この事業に申請をし、採択されました。医療系の分野で57大学(65件)の申請で、採択された大学は14大学(15件)です。この事業の目的は、社会の様々な分野で幅広く活躍する人材を育成する大学院修士課程、博士課程を対象として、優れた組織・体系的な教

育取り組みに対して重点的な支援を行うことです。そうすることで、大学院教育の実質化を推進し、採択された取り組みを広く社会に情報提供することで、今後の大学院教育の改善に活用するという目的があります。本大学は、平成20年度から22年度までの3年間、大学院博士前期・後期課程において島嶼看護の高度実践者、実践的教育指導者の育成を行います。宮古島を拠点とした教育・実践・研究活動を大学院の学生、教員、現地の多職種の専門の方々と共に進めていく予定です。島嶼看護に関心のある看護職の方の応募をお待ちしております。

## 「沖縄県立看護大学と那覇市教育委員会の連携事業」について

調整役 講師 宮城 政也

平成20年7月、沖縄県立看護大学と那覇市教育委員会は、本学在籍者が小中学校における学習支援を中心とした様々な活動を、相互に支援する体制を構築するために協定の締結を行いました。この協定は、これまで、本学学生が小中学校で非公式に行っていたボランティア活動などを、学習支援(特別な支援を必要とする子どもたちへの支援も含む)ならびに、本学、教育委員会、各小中学校校長の協議に基づく活動を、公式的かつ積極的に行える活動へ移行するためのものとしています。

学校で起こっている様々な問題は、大人社会の投影であり、保健看護的要素もふんだんに含まれています。今回の連携事業を通して学生が体験する活動は、普段の講義・演習とも異なる副次的な教育とも言えるでしょう。担当者のひとりとして、今後の事業の発展を祈念します。

## サークル紹介 美ら笑ばー

3年次 比嘉 麻巳

私たちサークルは、「笑いが人を幸せにし、幸せで人は笑い、その笑いでまた誰かが幸せになる。『幸せの連鎖』を創造したい」を目標に、障がいや疾病をもち子どもとその家族が遊びを通して多くの人と触れ合い、様々な体験をすることで、喜びや楽しみを感じることができるよう支援しています。活動内容は、月2回大学の体育館にて遊具を用いて、共に遊びサポートしたり、クリスマスパーティーや持ちつき大会など季節ごとのイベントや学校ヘルパーを行っています。興味のある方は、第2、4土曜日に体育館で活動しているので遊びに来て下さい。



## 海外研修セミナー ハワイ研修2008

### 参加者からの一声

- Hawaii独特の文化や習慣に触れ、豊かな自然と人の温かさに感動した3週間でした。また、英語力の向上と、アメリカと日本の医療制度の違いなどが学べ、興味深い学習プログラムだったと思います。(3年次 伊礼嘉宣)
- いろいろな経験をして、学ぶことが多くとても充実したハワイ研修でした！参加して本当によかったと思います！ハワイで学んだことを、今後生かしていきたいです!!!(3年次 照喜名つたえ)
- ハワイ大学での英会話講義や病院見学、現地の大学生との交流会等、毎日の内容が濃く、とても充実したあっという間の3週間でした。ハワイ研修に参加して外国の文化や生の英会話など今までにない様々な経験ができたと思います。(3年次 上江洲志織)
- ハワイでは学校での講義、外での活動などを通してグローバルな視点を学ぶことができました。特にホームステイが思い出深く、独特の文化や英語での交流、家族の温かさに触れることができ、貴重な体験だったと思います。(3年次 徳嶺会美)
- ハワイの文化、海外の医療など、新たな学びはとても新鮮で刺激的でした。ハワイでの経験、出会い、学び、全てが私にとってかけがえのないものになりました。今回ハワイ研修に参加して本当によかったと心から思っています。(3年次 尾崎加奈)
- HAWAIIセミナーに参加して、言葉は通じなくても人と関わろうという姿勢や相手のことを理解しようとする中で、コミュニケーションはとれるということを実感しました。多くのことを経験することができたので、セミナーに参加して本当に良かったと思います。(3年次 仲宗根由美)
- セミナーに参加し、沢山の経験は自分を成長させ、多様な視点から物事を捉えられる事が出来る事を学んだ。一生に一度の貴重な経験だった。今後の人生において、積極的に多様な事に挑戦していきたい。(3年次 神里亜実)
- ハワイ研修では、普通の旅行では体験できない現地の人々との触れ合いを通して、異文化理解や現地の人々の温かさを実感することができた。今回の研修では貴重な体験をいろいろさせてもらって、一生の宝物となった。(3年次 比嘉麻巳)
- 初めての文化・生活・生の英語に触れることができ、楽しかったし、自分が一回り成長できました。直に体験したことは、自分のこれからの財産になると思います。一緒に行ったメンバーも大切な仲間になりました。(3年次 川野美奈子)
- ハワイセミナーに参加したことで、実際に施設見学や講義を受けることができ、アメリカの医療制度を深く学ぶことができました。また、ホームステイなどを通してハワイの人の暖かさにふれることもできました。ハワイセミナーに参加して本当に良かったと思います。(3年次 比嘉文月)
- 私はハワイ研修の3週間を通して大学生活だけでは体験できない多くの事を学び、また友達との交流をさらに深めることができました。残りわずかな学生生活の中でできることをこのハワイ研修で大いに学び、楽しんでください☆(3年次 黒木美妃)
- 異文化に触れることで、自分自身のアイデンティティの相対化が起こり、そこから自己を振り返り、他者理解、自己理解につながります。参加することで得られるもの、それはあなたの人生に大きな影響をあたえることでしょう！(引率教員 神里みどり)
- Hawaii研修では、日本とアメリカの医療制度の違いについて学べるだけでなく、現地での生活、ホームステイを通して異文化に触れ、英語も沢山学べ、研修でしか経験できない様なことが多くあり、とてもいい経験になりました。参加してよかったと心から思います。(3年次 下地美穂)
- 本セミナーで印象深いことが3点あります。誰も調子を崩すことがなかったこと。2つ目は前学長の退官記念パーティに参加でき、ハワイの日系文化に触れたこと。3つ目はカウアイ島の自然と人々は暖かく、美しく、沖縄の文化習慣・風土と似ていることでした。充実したセミナーでしたが、3週間は短いようで長かったですね。(引率教員 田場真由美)
- ハワイ研修では、アメリカと日本での医療制度の違い、友達との共同生活、英語でのコミュニケーションなどを学び、また、様々な刺激を受けるとも良い機会となった。それらを今後に繋げて行きたいと思う。(3年次 瑞慶覧葉月)
- 今回の学生の引率を通して、海外の医療施設の見学、ハワイ移民の歴史と独特の文化にふれたこと、Garden Islandと言われているカウアイ島の豊かな自然から多くの癒しを頂いたことなど、大変貴重な経験となりました。(引率教員 赤嶺伊都子)



## 平成20年度オープンキャンパス

広報専門部会 名渡山 智子

オープンキャンパス2008が平成20年8月9日(土)午前10時~午後3時に開催されました。小雨がぱらつくあいにくの空模様でしたが、総計242人の高校生や保護者の方々などが、看護系各領域の講義や演習の特徴をいかした各種コーナー、在学生とのフリートーク、教員による個別進学相談、在学生が大学構内を案内するキャンパスツアーなど、多彩(様々な?)なプログラムに参加されました。

今回は、新たな試みとして「学長とお話しよう」をテーマとしたプログラムを設け、参加者と野口学長との交流の機会をつくりました。なごやかな雰囲気の中、参加者からは「この大学で学ぶメリットを教えてください」や「学長になる前は、どんなことをしていたのですか」など、野口学長に対して様々な質問が寄せられました。野口学長からは、大学の理念やカリキュラムの特徴などの説明のあと、「看護職者として社会的役割を果たせる人材を育てたい。ぜひ、沖縄県立看護大学に入学して下さい。楽しみにお待ちしております」と参加者へメッセージが送られました。参加者からは「野口学長の熱い思いが伝わってきて、看護の厳しさが分かった」「もっと勉強して、絶対に看護大学に入るぞという気持ちが強くなった」などの意見が聞かれ、野口学長を通して、本学の教育の特徴や看護の魅力について知って頂く貴重な機会になったのではないかと思います。

また、本学の開学10周年を記念し、「10周年記念コーナー」をテーマに、開学から10年間の本学の歩みを取り上げたコーナーを設けました。そのコーナーにも多くの参加者が訪れ、開学当初の看護大学の写真などに興味深く見入っている様子が見られました。

アンケートに回答して頂いた149名からの評価では「とてもよかった」125名、「まあまあ良かった」19名、「どちらともいえない」0名、「あまり良くなかった」1名、「良くなかった」0名でした。参加者からの意見・感想では「色々な体験ができて楽しく、ますます看護の道に進みたいという気持ちが強くなりました」、「先生方や先輩の話聞き、授業内容や職種(看護師、保健師、



助産師) 内容が理解できました'などがあり、全体的に良い評価が得られました。また、少数ですが'大学全体の説明がほしい' '校内に案内係をおくか、校内の地図を配ってほしい' という意見もありました。このような意見に対しては、今後、真摯に対応していきたいと考えております。

オープンキャンパスの開催を通し、本学への入学を希望される方々へ本学を広く紹介することの楽しさや難しさを実感したとともに、参加者の本学への期待や熱意を熱く、そして、強く感じ、本学の教員としての責任の大きさを改めて感じる事ができました。

最後に、オープンキャンパスの開催に際し、ご協力下さいました学生ボランティアの皆さん、教職員の皆さまに深く感謝申し上げます。



### その他の主な教育活動

- 卒論発表：2008年12月24日(金) 開催(4年次 76人)
  - 大学院 論文中間発表会：2009年1月15日(木) 開催(博士前期課程 7人、博士後期課程 2人)
  - 社会人学び直しプログラム
    - 第2回：平成20年9月開催(場所：沖縄県立宮古病院, 参加人数：13人)
    - 第3回：平成21年1月開催(場所：沖縄県立看護大学, 参加人数：16人)
- ※参加料：3000円

### 教職員の動き

就任：伊良波 理絵

楽しみながら、あるいは大変な思いをしながら(?)大学生活を満喫している学生さんの姿を懐かしく思います。病棟看護師としての経験を経て2008年11月から基礎看護の助手として着任いたしました。臨床現場で感じたことを忘れずに、学生の皆さんと共に学んでいきたいと思っております。研究者・教育者としては新人です。どうぞよろしくお願いいたします。



退職：中垣 倫子

### 大学院GPによる院生の募集および結果

「大学院教育改革支援プログラム」による平成21年度大学院生募集をおこなったところ(右ポスター)、大学院博士前期課程(8人)、後期課程(2人)の応募があり、平成21年2月9日(月)に選抜試験が実施されました。

その結果、博士前期課程(2人)、後期課程(2人)の合格者が決定されました。

大学院教育改革支援プログラムによる  
平成21年度 大学院生募集

募集人員：大学院博士前期課程(2人)・後期課程(1人)

入学生受入：島嶼看護に関心をもつ者。但し、前期(修士)課程は、現在看護職として勤務している者。

試験日：平成21年2月9日(月)

かせかけとは、琉球古典舞踊女七踊りの一つです。総とは紡いだ糸を巻く道具で、総掛けとは布を織る糸をこしらえている様子を指しています。この踊りのように丹念に糸を紡ぎ布を織って着物に仕立てていく、その一途の心と「技術」「感性」は、「知識」の継承・創出とともに、本学の看護職者を生み育てる教育・研究の原点に相通ずるものであろうと、広報誌の名称にしました。



### 編集後記

平成20年度は、開学10周年の記念事業の開催、学部GPおよび大学院GPが同時に採択されるという大きな喜びがありました。それぞれのGPは、公開講演や宮古そして海外をフィールドとして活動を始めています。本プロジェクトを有効に活用し、教育・研究をはじめ保健医療福祉の向上に役立てたいと思っております。

(広報専門部会)

## 沖縄県立看護大学

〒902-0076

沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

TEL(098)833-8800(代表) FAX(098)833-5133

http://www.okinawa-nurs.ac.jp